

「ご加入時」の最適な保障とあわせて、「ご加入後」の保障見直しの
自在性と、「ご請求時」のわかりやすさを大切にします。

進化する保険

■「あなたの今」に寄り添う新商品 **ベストスタイル** 誕生!

**あわせ
やすい**

ご加入時

- 豊富な特約ラインアップ(4つの保障カテゴリ)からお客さまにぴったりの「安心」を提供します。
- 高額割引制度を拡大し、全てのカテゴリの特約を割引の判定対象としました。

カテゴリ A
病気・ケガへの備え

カテゴリ B
重い病気への備え

カテゴリ C
障がい・介護への備え

カテゴリ D
万への備え

**みなおし
やすい**


ご加入後

- 社会環境や医療技術の進歩など、さまざまな環境の変化に応じて保障内容を見直しできるので、一生にわたって「安心」です。
- 保険契約の終了まで、対面によるアフターフォローを提供します。


クイックチェック

保障問診

*お客さまの保障に対するお考えなどをお伺いし、提案に反映させるツールです。



医療費 リンクサポート



生活費 ロングサポート

■アフターフォローのご案内「安心ロードマップ」で長期間にわたって安心をお届けします。

「ベストスタイル」のご契約者には、担当の営業職員(MYライフプランアドバイザー)を通じてアフターフォローのご案内「安心ロードマップ」をお届けします。

「安心ロードマップ」の2つのサービス

- 基本サービス(定期点検・お手続きサポート)
- オプションサービス(お客さまのご要望に応じたサービス)



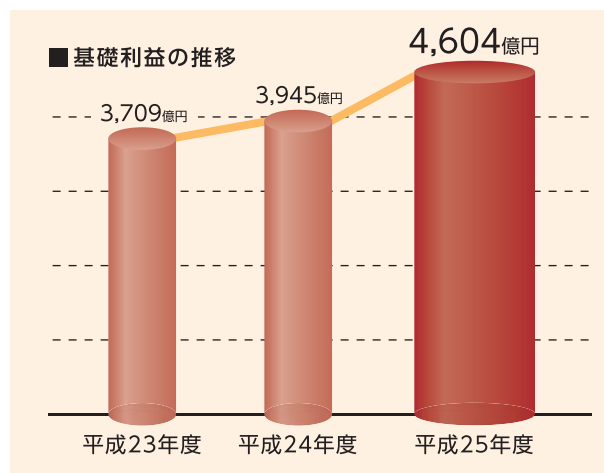
本資料(MEIJIASUDA INFORMATION 2014)は、保険募集を目的としたものではありません。保険商品の詳細につきましては「商品パンフレット」等をご覧ください。

3年連続の順ざや、4年連続の増益となるなど、
高い収益力を確保しています。

1 基礎利益

4,604億円

基礎利益は4年連続の増益となりました。



基礎利益とは、保険料等収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表わす指標です。平成25年度は、658億円の増益となり、基礎利益は4,604億円となりました。

基礎利益の内訳 (単位:億円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
基礎利益	3,709	3,945	4,604
費差	482	535	535
危険差	3,035	2,983	2,875
利差	192	425	1,193

*平成25年度より、基礎利益の内訳の算出方法を一部変更しております。

- 費差: 保険料算定時に想定した事業費率に基づく事業費支出予定額と実際の事業費支出額との差額
- 危険差: 保険料算定時に想定した保険事故発生率に基づく保険金・給付金等支払予定額と実際の保険金・給付金等支払額との差額
- 利差: 保険料算定時に想定した利率に基づく予定運用収益と実際の運用収益との差額

2 ご契約者さまへの配当還元

個人保険・個人年金保険の配当率を引き上げます。

平成25年度は、4年連続の増益を達成し、利差についても3年連続で順ざやを確保しました。このような状況をふまえ、平成26年度にお支払いする配当では、剰余への貢献度の高いご契約の配当率を一部引き上げます。

- 配当率を引き上げるとご契約例
- ① 予定利率が2.0%以下のご契約のうち、保険料の払込方法が「標準払」のご契約および一時払終身保険のうち「終身保険パイオニア、終身保険パイオニアE、新・終身保険」のご契約
 - ② 生活サポート特約、新・生活サポート特約、生活サポート終身年金特約を付加したライフアカウントL.A.等のご契約

■「配当金例」ライフアカウントL.A.(男性、40歳加入、死亡保険金3,000万円)

	平成26年度支払配当		平成25年度
		前年差	
経過6年(46歳)	2,821円	2,740円	81円
経過9年(49歳)	21,551円	5,194円	16,357円

*上記の配当還元にあたり、平成26年7月の総代会決議を経て、平成25年度決算に基づく当期未処分剰余金のうち、1,580億円を社員配当準備金として繰り入れます。
*団体年金保険についても利差配当率を引き上げます。
*ご契約の内容によっては、お支払いする配当がゼロまたは少額の場合があります。

*上記設例は、主契約(アカウント)保険料月1,000円、(新・)生活サポート特約(終身型)240万円、遺族サポート特約600万円、障害状態による特別終身特約500万円を付加した契約例となっています。